

添付文書をよく読んでご使用いただくよう、ご指導ください。

CHECK ONE LH

排卵日予測検査薬 チェックワン® LH

第1類医薬品

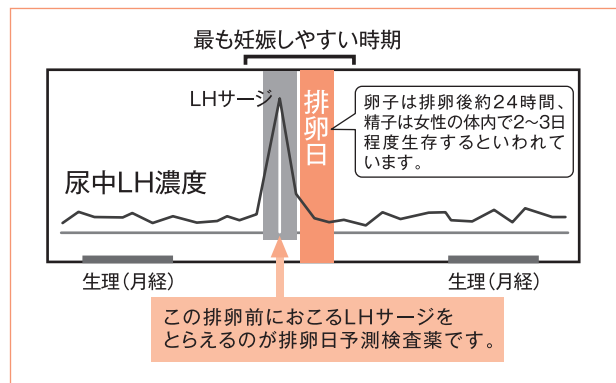
一般用黄体形成ホルモンキット

【黄体形成ホルモンキットとは？(測定原理)】

黄体形成ホルモン(LH)は、普段から少量分泌されているホルモンですが、卵子が成熟した頃、大量分泌がおこり(LHサージ)、それが引き金となってLHサージから約40時間以内に排卵がおこるといわれています。

排卵日予測検査薬は、このLHを検出し、LHサージをとらえるための検査薬です。

排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有用です。



【チェックワン LHの製品概要】

1. 反応系に關与する成分

(チェックスティック1本中)

金コロイド標識抗 LH-β モノクローナル抗体(マウス)	4.37 μg
抗 LH-α モノクローナル抗体(マウス)	1.09 μg
抗マウス IgG ポリクローナル抗体(ウサギ)	34.1 ng

2. 使用目的

尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

3. 使用方法

<検査のタイミング>

下の表を参考に、ご自分の生理(月経)周期から換算して、次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。

生理(月経)周期	21日以下	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	32日	33日	34日	35日	36日	37日	38日	39日	40日
検査を始める日	生理(月経)開始から																			
	5日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目	21日目	22日目	23日目

<検査の時期に関する注意>

- ・1日1回検査をする場合：1日1回毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。
- ・1日2回検査をする場合：1日2回(例えば朝夕)検査をしてください。毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。
- ・生理(月経)周期が不規則な方は最近の2~3周期の中で一番短かった周期を目安にして、次回生理(月経)開始予定日を決めてください。

<検査のしかた>

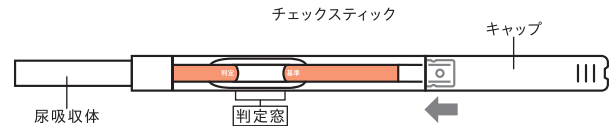
検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。

(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性が陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

- ・検査は以下の手順に従ってください。
- ・アルミ袋は検査直前に開封してください。

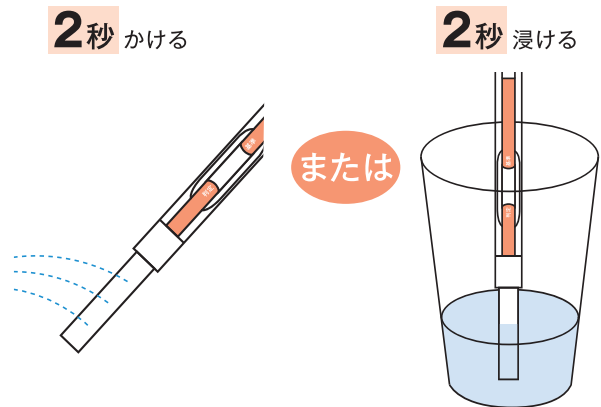
1 キャップを後ろにはめる

チェックスティックを取り出し、キャップをチェックスティックの後方に装着してください。



2 尿をかける または 浸ける

尿吸収体が下を向くように持ち、尿吸収体全体に尿を2秒間かけるか、乾いた清潔な紙コップに採尿し、尿吸収体全体が浸るように2秒間、尿に浸けてください。(採尿後はできるだけ速やかに検査をしてください。)

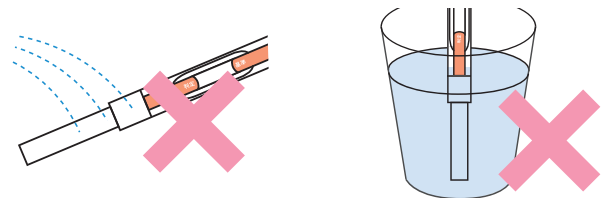


※このとき、尿吸収体以外を尿で濡らさないように気をつけてください。



※採取した尿で検査をする場合は、尿吸収体のみを浸けてください。

※尿を10秒より長くかけたり、10秒より長く浸けないでください。



3 キャップをする

濡らし終わったら尿吸収体を下に向けたままキャップをしてください。



4 水平に置く

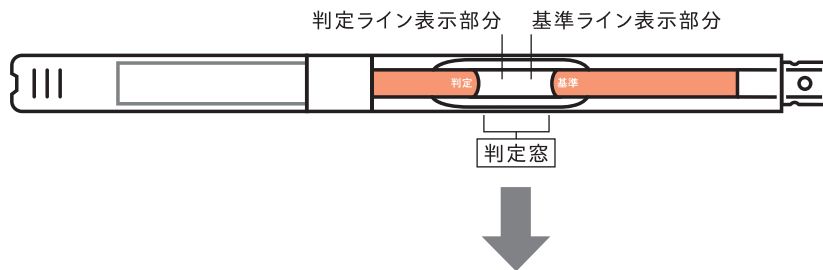
平らなところに判定窓が見えるように置き、1分間静置してください。

1分待つ



<判定のしかた>

- ・まずチェックスティックの判定窓に赤色の基準ラインがあらわれていることを確認してください。
- ・判定は判定窓の判定ラインと基準ラインの有無及び色の濃さを比較して判定してください。
- ・10分を過ぎての判定は避けてください。
- ・初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵がおこるといえるのです。



スコア	判定窓 判定ライン 基準ライン	判定
1		陰性 (-) 判定ラインが認められない(スコア1)か、判定ラインの赤色の濃さが基準ラインより薄い場合(スコア2) LHサージが検出されませんでした。翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。
2		
3		陽性 (+) 判定ラインの赤色の濃さが基準ラインの赤色と同じ(スコア3)か、それより濃い場合(スコア4) LHサージが検出されました。間もなく排卵がおこると予測されます。初めて陽性になった日かその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。
4		
基準ラインが認められない場合		再検査 判定窓に基準ラインが認められない場合は、尿吸収体にしみこませた尿が少なかったこと等が考えられますので、別のチェックスティックを用いて検査をやり直してください。

※実際にあらわれるラインの色・形は例示と異なる場合があります。



※同じ時間帯に検査ができない場合でも、LHサージを見逃さないために1日1回は必ず検査をし、翌日からは一定の時間帯に戻して検査をしてください。

※陽性になった時点で、この周期での検査は終了です。未開封のチェックスティックは、使用期限内でしたら次回以降の検査に使用できます。

使用上の注意

してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されておらず、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、避妊目的には使用できません。性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)

解説 本品は、妊娠の成立のために排卵日の予測の補助を行う検査薬であり、避妊目的に設計されていません。LHサージから通常排卵がおこるといわれる40時間を大幅に超えて排卵がおこる場合があること、精子は体内で3日以上生存する可能性があること、検査薬がLHサージをとらえる前に排卵がおこる場合があること、検査結果が陰性であっても、体内では卵子が生存している可能性もあることから、確実に避妊できるものではありません。

相談すること

1. 次の人は、使用前に医師に相談してください。

- ・不妊治療を受けている人
- ・通常の性交を継続的に行っても1年以上妊娠しない人
- ・生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人

解説 不妊治療には、ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(hCG)製剤等のホルモン療法など、医師から何らかの薬剤投与又は処置を受けている可能性があり、それが本品の検査結果に影響を与える可能性があります。また1年以上妊娠しない人や、生理(月経)が極端に不規則な人、生理(月経)周期が延長して生理(月経)回数が極端に少ない人は、黄体など何らかの機能不全の可能性もあります。

2. 検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師又は薬剤師に相談してください。

解説 尿中の黄体形成ホルモン(LH)濃度には個人差や周期差がありますので、LHサージが確認できないことだけで、何らかの疾患が関与しているとはいいきれませんが、陰性が続いてLHサージが確認できない場合は、月経異常などの可能性もあることから、医師への受診勧奨が行えるよう、相談事項としました。

3. この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

解説 本品について、きっちり理解していただいた上でご使用いただけるよう、相談事項としました。

Q&A お客様から相談を受けられたときのアドバイスや対応の参考としてください。

してはいけないことについて

Q1 避妊目的には使用してはいけないのでしょうか？

A1 「チェックワン LH」は、妊娠の成立のために排卵日の予測の補助を行う検査薬であり、避妊目的に設計されていません。LHサージから通常排卵がおこるといわれる40時間を大幅に超えて排卵がおこる場合があること、精子は体内で3日以上生存する可能性があること、検査薬がLHサージをとらえる前に排卵がおこる場合があること、検査結果が陰性であっても、体内では卵子が生存している可能性もあることから、確実に避妊できるものではありません。

検査の時期について

Q2 生理(月経)周期がわかりません。検査開始時期の求め方は？

A2 生理(月経)周期がわからなければ、「チェックワン LH」を使用する前に、まず1周期待ってください。生理(月経)周期がわかったら、P.4の3.使用方法<検査のタイミング>から始めてください。生理(月経)周期がわからないまま検査を始めたい場合は、生理(月経)が始まって10日目から検査を始めてください。(ただし、生理(月経)周期にそって検査をしない場合、検査時期が遅かったためにLHサージを検出することができない場合があります。この場合は、次回の周期で検査開始日を求めて検査をしてください。)

Q3 生理(月経)周期が不規則で、5、6日ずれることもあるのですが、検査はいつ始めるのがよいですか？

A3 生理(月経)周期が不規則な場合は、最近の2~3周期の中で一番短かった周期を目安にして次回生理(月経)開始予定日を決めてください。なお、生理(月経)周期が非常に不規則な場合は、重要な疾患が潜んでいる可能性も考えられるため、なるべく早く医師に相談してください。

Q&A お客様から相談を受けられたときのアドバイスや対応の参考としてください。

検査の時期について

Q4 私の生理(月経)周期が表にありません。検査開始時期の求め方は？

A4 生理(月経)周期が41日以上の場合は、次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を始めてください。

Q5 計算に従って決めた検査開始日を今月は過ぎていましたが、いつから始めたらよいですか？

A5 検査開始日を既に過ぎていた場合は、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査をしてください。

Q6 検査を始めて2日が経過し、陰性が続いていましたが、3日目の検査を行うことを忘れてしまいました。4日目から再開した方がよいですか？

A6 4日目に検査をして陰性であったとしても、3日目に陽性であった可能性があり、排卵日を正確に予測できないおそれがあるため、次回の周期にあらためて検査開始日を決めて検査をしてください。

検査について

Q7 検査の間隔は1日1回と2回のどちらがよいですか？

A7 「チェックワン LH」はLHサージをとらえることで、排卵日を事前に予測するものです。LHサージは短時間に急激におこりますので、1日2回検査を行っていただくと、よりLHサージをとらえやすくなります。

Q8 いつの尿で検査をすればよいですか？

A8 1日のうち、どの時間帯の尿でも検査はできますが、検査開始日から毎日ほぼ同じ時間帯の尿で1日1～2回、陽性があらわれるまで連続して検査をしてください。正確に検査をするために、検査前4時間の排尿、検査前の水分の過剰摂取及び多量の発汗を伴う運動は避けてください。

Q9 チェックスティックは1箱すべて使い切らないといけませんか？

A9 初めて陽性となった日とその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)なので、検査結果が陽性となった時点で、今回の周期での検査を終了してもかまいません。(ただし、検査1日目から陽性になった場合は、**Q11**をご参照ください。)未開封のチェックスティックは使用期限内でしたら次回以降の検査に使用できます。

判定について

Q10 判定ラインが尿をかけて10分を過ぎてから濃くなったのですが？

A10 10分を過ぎての判定は避けてください。

Q11 検査1日目に陽性になったのですが？

A11 既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く(可能であれば陽性になった当日に)性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、検査1日目から陽性となった場合は、陰性が確認できるまで検査を続けてください。検査期間中、陰性が確認できず、陽性が続いた場合は、早期に医師の診療を受けてください。

Q12 陽性(スコア3又はスコア4)が連日続くことがあるのですが？

A12 初めて陽性(スコア3又はスコア4)となった日とその翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)なので、検査結果が陽性となった時点で今回の周期での検査を終了してもかまいません。最初に陽性が確認された日から約40時間以内に排卵することが予想されます。(ただし、検査1日目から陽性になった場合は、**Q11**をご参照ください。)

Q13 検査を終了しましたが、すべて陰性でした。どうしたらよいですか？

A13 通常、排卵期に、「チェックワン LH」を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性にならないことがあります。検査期間中、陽性にならず、陰性が続いた場合には、早期に医師又は薬剤師に相談してください。

Q14 飲酒、喫煙、かぜ薬等の服用は判定に影響しますか？

A14 影響しません。ただし、不妊治療のために投与されている薬剤の中には判定に影響するものもありますので、医師に相談してください。

Q15 最近避妊薬(ピル)の服用をやめましたが、これは検査結果に影響しますか？

A15 検査結果に影響はありませんが、ピルの服用をやめると生理(月経)周期が不安定になりますので、周期が安定するまでお待ちください。3周期ほどお待ちいただいてから生理(月経)周期を求め検査をしてください。

その他

Q16 6周期検査をし、性交を持ったのに妊娠しませんか？

A16 妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではなくありません。また、生理（月経）が順調だから問題がないということでもありません。妊娠しにくい原因は様々ありますが、女性側の原因の多くは治療が可能です。自分一人で悩まず医師に相談してください。この検査の結果や基礎体温を測定した結果があれば診断に役立つでしょう。できればパートナーと一緒に相談に行かれることをお勧めします。

Q17 排卵日を知る手がかりである基礎体温と排卵日予測検査薬のちがいは？

A17 排卵がある周期の場合、基礎体温は低温相と高温相の二相があり、低温相から高温相に変化した頃に排卵があったことが推定できます。多くの場合、体温が上がってから排卵があったことがわかるので、基礎体温法では前もって予測することは難しいといわれています。

一方、尿中の黄体形成ホルモン（LH）濃度の上昇が始まってから約40時間以内に排卵がおこることが知られており、排卵日予測検査薬でLHの分泌量の変化を調べることで約1日前に排卵日の予測の補助を行うことができます。排卵日予測検査薬は補助的に排卵を事前に予測し、基礎体温は排卵を後で確認できますので、特に生理（月経）の不規則な方は基礎体温と排卵日予測検査薬を併せて使うことをお勧めします。

Q18 最も妊娠しやすい時期はいつですか？

A18 初めて陽性になったときから約40時間以内に排卵がおこる可能性が高いと予測され、その時期が最も妊娠しやすい時期といえます。

Q19 妊娠しているかもしれません。どうしたらよいですか？

A19 姉妹品の妊娠検査薬「チェックワンS」で、生理予定日の約1週間後に検査をしていただくと妊娠しているかどうかわかります。もし判定結果が陽性であれば、医師の診療を受け今後の相談をしてください。ご自分の体のためにも、できるだけ早く病院に行ってください。

チェックワンLHの検査に関するお問い合わせは

チェックワンLH相談室
052(962)2203

株式会社アラクス
〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目2-26
受付：9:00~16:30（土・日・祝日を除く）

製造販売元

ARAX 株式会社 アラクス
〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目2-26